

平成23年6月1日  
国土交通省河川局

## 第7回水害サミットの開催について（お知らせ）

激甚な水害を経験した全国の市町村長が集まり、教訓や治水への思いを語り合う「第7回水害サミット」の開催について、サミットの発起人である兵庫県豊岡市長より、別添のとおり記者発表が行われましたので、お知らせします。

また、サミットには、国土交通省河川局長がオブザーバーとして参加する予定です。

### 問合せ先

国土交通省	河川局	治水課
	企画専門官	椿本和幸
代表	03-5253-8111	
	(内線35512)	
直通	03-5253-8450	



## 第7回水害サミットの開催

～個々の経験を全国で生かす～

激甚な水害を経験した全国の市町長が集まって思いを語り合い、経験から得た知見や課題を全国へ発信するとともに、防災・減災の観点から、河川行政・管理などに提言を行う。

### 1. 開催経緯

平成16年は10の台風が上陸するなど、全国各地で集中豪雨や台風による激甚な災害が発生し、多くの尊い生命や財産が失われた。

これらの水害体験で得た課題や反省点などは、各自治体が今後の防災活動を行う上で大変貴重な財産となる。しかし、減災のためにはより多くの事例を知ることが必要であり、取りまとめた情報を全国の自治体に情報発信すれば、教訓や課題が共通の財産となる。

そこで、平成16年に被害を受けた新潟県三条市、新潟県見附市、福井県福井市、兵庫県豊岡市の4人の市長が発起人となって実行委員会をつくり、平成14年以降に激甚な水害を受けた全国の自治体に呼びかけ、水害サミットを開催することとした。平成17年9月27日に第1回を開催し、以降毎年開催している。

### 2. 第7回水害サミット概要

#### (1) 日時

平成23年6月7日(火) 15:00～18:00

#### (2) 場所

毎日新聞東京本社 地下1階 「毎日ホール」  
(東京都千代田区一ツ橋1-1-1)

#### (3) テーマ

今回の東日本大震災を背景として

- ①市区町村の立場での広域災害支援のあり方
- ②被災を経験した自治体としての復興策の提言
- ③水害に強いまちづくり

#### (4) 参加自治体

平成14年から平成22年に甚大な水害を被った76自治体の市区町村長へ参加を呼びかけ、15市町長が参加(5月23日現在)



No.	参加自治体首長	参加回数
1	北海道日高町長	6回目
2	秋田県北秋田市長	4回目
3	新潟県見附市長	7回目
4	新潟県三条市長	6回目
5	静岡県伊豆の国市長	6回目
6	愛知県岡崎市長	3回目
7	福井県鯖江市長	6回目
8	福井県越前市長	5回目
9	兵庫県豊岡市長	7回目
10	兵庫県西脇市長	6回目
11	和歌山県和歌山市長	2回目
12	高知県いの町長	7回目
13	岡山県美作市長	初参加
14	福岡県飯塚市長	4回目
15	鹿児島県湧水町長	4回目

**(5) オブザーバー参加**

国土交通省河川局

**(6) 事務局**

豊岡市防災課

〔問合せ〕 豊岡市総務部防災課TEL0796-23-1111 (内線 2191)